



スピーチ 湯野浜温泉竹屋ホテル
佐藤航君



ゲスト 2800 地区ガバナー補佐
西川富美子君



幹事報告 小野寺佳克君

会長挨拶 会長 鈴木孝純君

水田には青々とした若苗に躍動感が感じられ、初夏の爽やかな風が心地よい季節となりました。2025～2026 度会長職の役目も来週の最終例会をもちましてほとんど終わりとなります。この 1 年間の皆様のご協力に改めて深く感謝申し上げます。

さて、我がクラブが 60 周年を迎えるにあたり、原点回帰の姿勢で、「Rediscover Rotary (ロータリー、再発見)」のスローガンを掲げました。実はこの背景には、私自身が浅学菲才であり、より多くのことを学びたいという思いがありました。そして、歴史を紐解いていくと多くの新たな発見を得ることができました。次にその一部を紹介します。

まず、我がクラブは、1966 年 5 月、鶴岡ロータリークラブがスポンサークラブとなり、鶴岡市内の開業医である小花盛夫氏を特別代表として創設されました。小花氏の先祖は三川町横川の旧家で代々医を業としており、また、教育にも非常に熱心で、自宅を開放しては地元の子どもたちを集めて手習所(寺子屋)をやっておりました。明治 5 年の学制によって村のお寺が学校に指定されましたが、子どもたちは環境の良い小花家に通い続けたという記録も残っています。小花盛夫氏は父あるいは祖父の代で鶴岡に出たと思われませんが、他に尽くす奉仕の精神は、正に先祖から受け継がれてきたものと確信した次第です。

話は世界に移します。1905 年にポール・ハリスが友人 3 人で創ったロータリークラブの当初の目的は、相互扶助による会員同士の「利益」と「親睦」の 2 項目でしたが、2 年後に「地域社会に対する貢献、公共への奉仕」が追加されました。ここで、「親睦派」と「奉仕派」の対立が起こり、この異様な雰囲気やを和らげようとして例会の中で歌を歌う習慣ができました。これが「ロータリー

ソング」の始まりです。

また、1915 年～1923 年には「奉仕理念提唱派」と「奉仕実践派」が対立し、ロータリー分裂の危機を招きました。そして 1923 年の国際大会で 6 条からなる決議によって調和が図られ、特に第 1 条においては、ロータリーは一つの人生哲学であり、「超我の奉仕」の哲学であると示されました。

1932 年の世界大恐慌では、ロータリーの職業奉仕理念が大不況にも耐えることが実証されました。シカゴ・ロータリークラブの会員のハーバート・テラー氏が倒産の危機に瀕していた会社の再建ために考案したのが「四つのテスト」です。この行動基準に従業員、顧客、取引先すべてに厳格に適用した結果、会社の信用が増し、業績が回復しました。また、1936 年には「ニコニコ箱」が大阪で始まり、1953 年の第 61 地区神戸大会では円陣づくりながら「手に手つないで」を歌うことが始まりました。ともに日本発です。

ロータリークラブは 121 年の歴史の中で、世界大恐慌、2 つの世界大戦、そしてコロナ禍と激動の時代を経ながらも、「奉仕の理念」を掲げ、常に世界を俯瞰しながら歩んできました。そこに、真の人類愛の存在を感じざるを得ないのは私一人ではないと思います。



鈴木孝純会長 佐藤航君お話し有難うございます。60 周年も盛会に終わることができ一年間ありがとうございました。
西川富美子君 IM. 海岸清掃をはじめ、一年間お世話になりました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます
佐藤一嘉君 20-27 年度一年間よろしくお願い致します。
早坂 剛君 エルサン 55 周年多くの方に御出席いただき誠にありがとうございました。
池田徳博君 エルサン 55 周年おめでとうございます。77 歳をひかえ国際村でフラを踊ってきました。
渡部芳幸君 航さん本日は講話ありがとう。昔のロータリーの歴史が聞けてよかったです。
本間千佳子君 エルサン 55 周年おめでとうございます。式典帰りでお店をご利用いただきありがとうございます。

